



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2021年5月27日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2021年4月分）

◎県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが停滞し、厳しい状況にある。

☆個人消費：全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは前年同月を下回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)ともに前年同月を上回る。

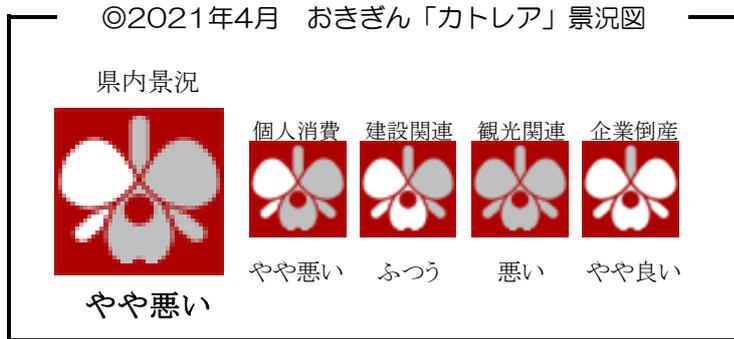
☆企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：仲本、野原、與那覇 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2021年4月分)



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが停滞し、厳しい状況にある。

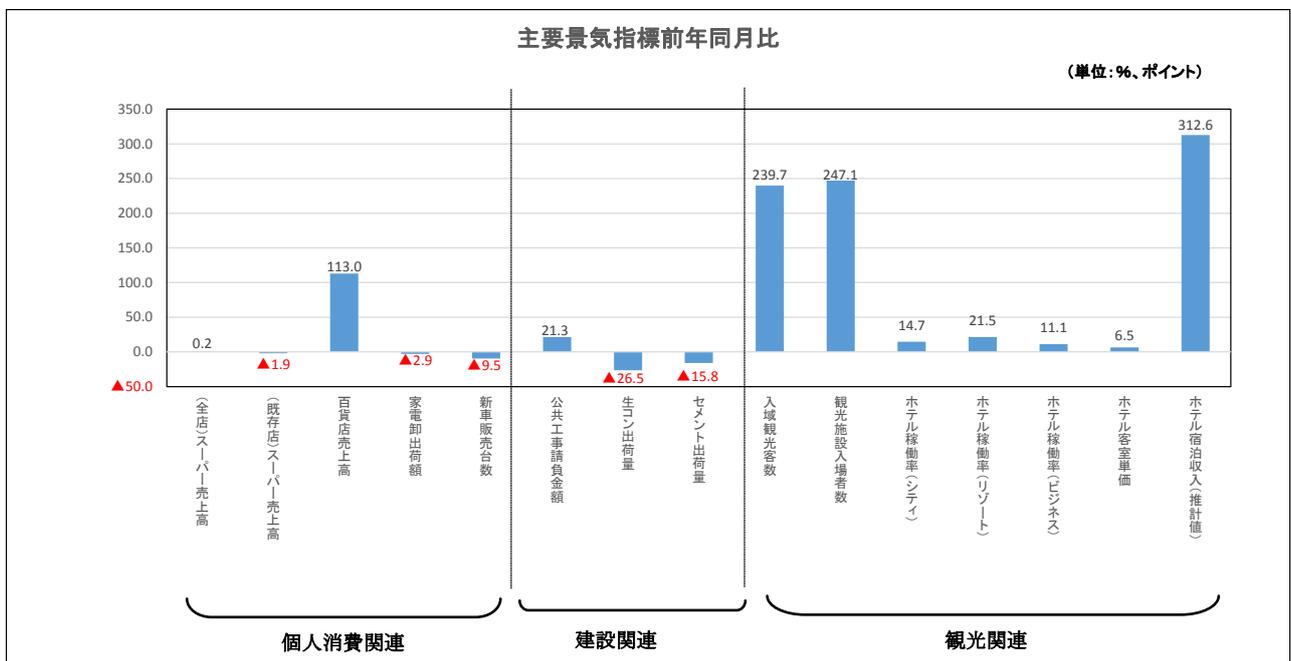
4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは下回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントとともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は16ヵ月ぶりに前年同月を上回り、観光施設入場者数は前年の施設の休業体制の反動増により前年同月を上回りました。ホテル稼働率もシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてでホテルの休業体制からの反動増により前年同月を上回りました。ホテル客室単価および宿泊収入(推計値)も反動増により前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費及び観光関連では、前年の休業体制などの特殊要因による反動増となるものの、個人消費、建設関連では弱さがみられ、観光関連では依然として厳しい状況にあることなどから、**「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが停滞し、厳しい状況にある。」と景気判断を据え置きました。**

(2021年2月の下方修正から3ヵ月連続で判断維持)



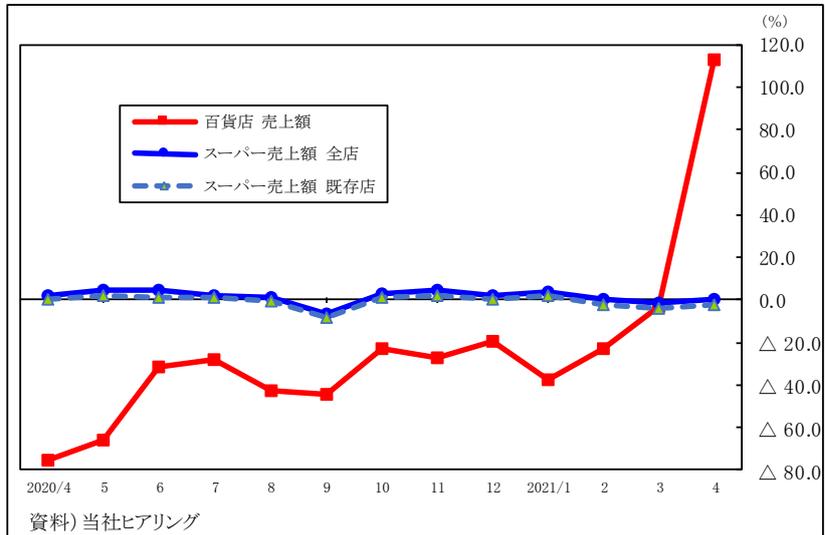


個人消費：(やや悪い)

- ① スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは下回る。
百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2020/4	2.3	0.7	△ 75.1
5	4.6	1.9	△ 66.2
6	4.9	1.6	△ 31.7
7	2.2	1.3	△ 27.9
8	1.5	△ 0.8	△ 42.7
9	△ 6.1	△ 8.0	△ 44.0
10	3.3	1.1	△ 23.0
11	4.5	2.3	△ 27.0
12	2.2	0.4	△ 19.3
2021/1	3.9	1.7	△ 37.7
2	0.1	△ 2.1	△ 22.6
3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5
4	0.2	△ 1.9	113.0



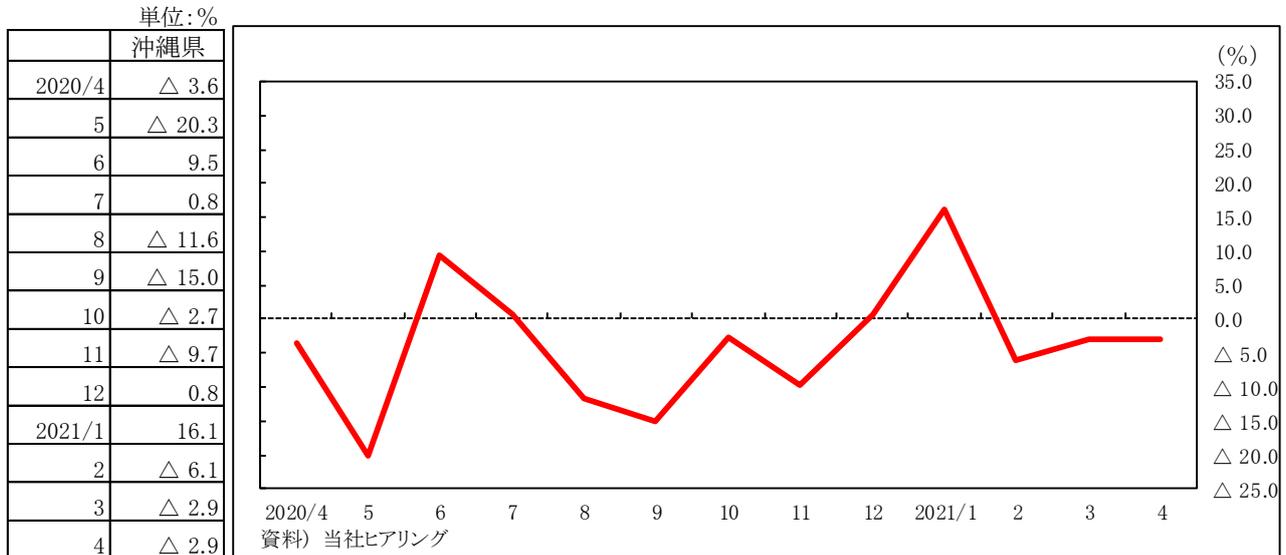
注) 前年同月比

4月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比0.2%増)」は、新規出店効果や、前年に緊急事態宣言発出に伴う一部店舗の臨時休業により落ち込んだ反動などから、「衣料品(同 62.9%増)」、「家庭用品(同 14.7%増)」が伸び、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 1.9%減)」は、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、「衣料品(同 64.7%増)」、家電やドラッグを含む「家庭用品(同 10.3%増)」は、前年に緊急事態宣言発出に伴う臨時休業により大きく落ち込んだ反動から、前年同月を上回りました。一方、ウエイトの高い「食料品(同 7.2%減)」は、生鮮食品や缶詰等を中心に、前年に外出自粛や学校等の臨時休校などによる巣ごもり需要で伸びた反動がみられ、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、まん延防止等重点措置の影響により消費マインドの低下が見られたものの、全般的に、前年に新型コロナウイルス感染症の影響拡大による営業時間短縮や、緊急事態宣言発出に伴う休業要請などにより大きく落ち込んだ反動がみられ、23ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 113.0%増)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同 184.2%増)」は、「紳士服(同 154.0%増)」、「婦人服(同 215.2%増)」、「子供服(同 80.4%増)」など、前年の反動から全般的に伸び、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。「食料品(同 75.1%増)」も、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。「雑貨(同 86.0%増)」は、売り場面積の減少(テナント化)の影響があるものの、23ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

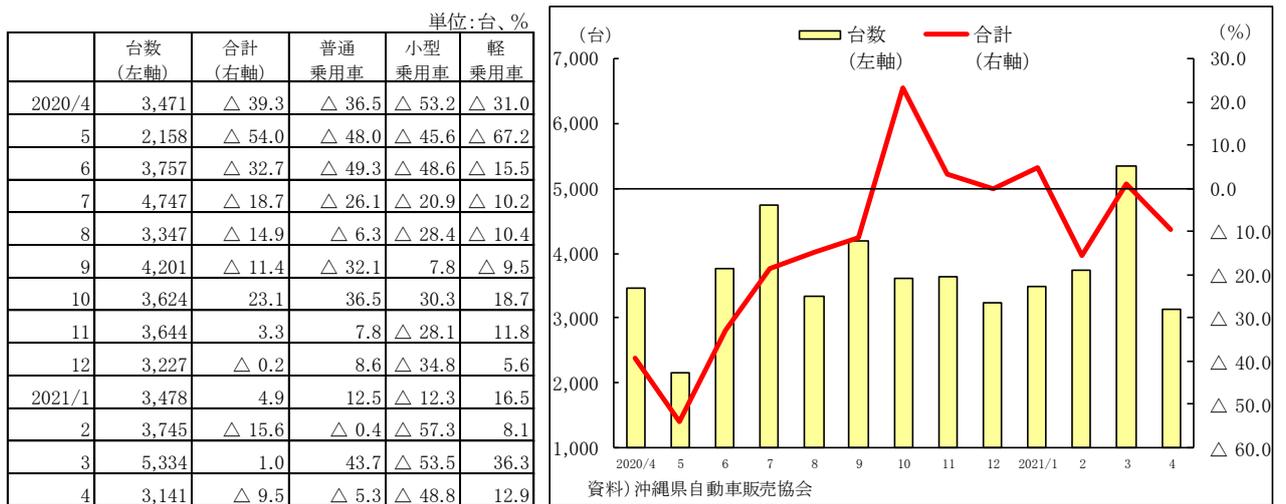
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は3ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、白物家電が伸びず、3ヵ月連続で前年同月を下回りました(同2.9%減)。品目別では、「テレビ(同27.2%増)」は、前年に在庫不足により落ち込んだ反動や、4K等の高価格帯商品が伸び、前年同月を上回りました。一方、「エアコン(同19.1%減)」、「洗濯機(同10.8%減)」、「冷蔵庫(同7.6%減)」は、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月ぶりに前年同月を下回る。



注) 前年同月比

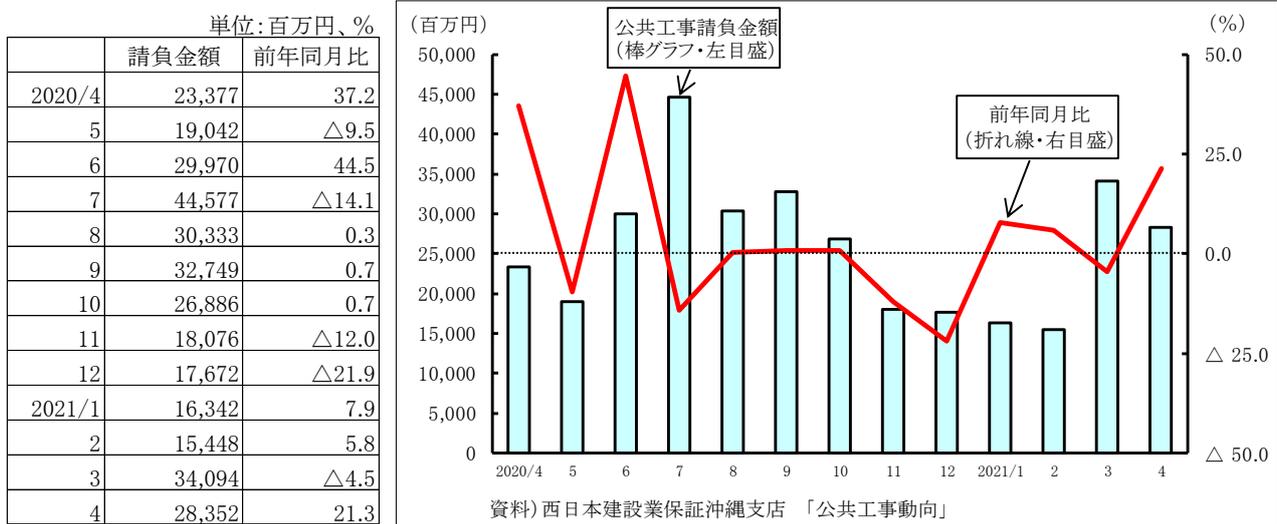
注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,141台(同9.5%減)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「軽乗用車(同12.9%増)」は、自家用車需要が伸び、前年同月を上回りました。一方、「普通乗用車(同5.3%減)」は、自家用車需要が伸びたものの、レンタカー需要が減少し、前年同月を下回りました。「小型乗用車(同48.8%減)」は自家用車需要、レンタカー需要ともに減少し、前年同月を下回りました。
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

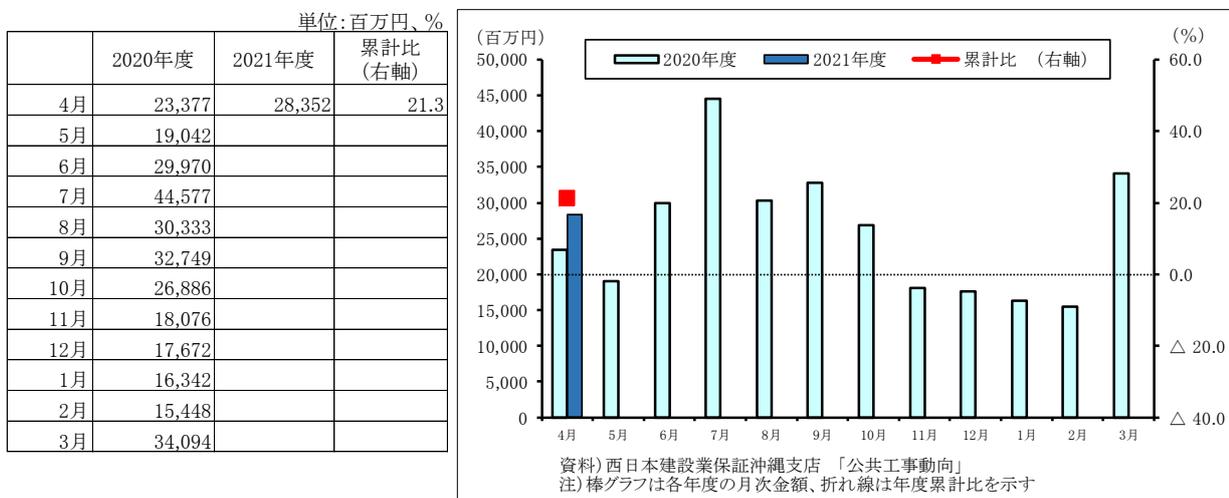


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



4月の公共工事請負金額は、前年同月比21.3%増の283億5,200万円となりました(2ヵ月ぶり増)。

発注者別でみると、「国(同111.7%増)」や「その他の公共的団体(同488.8%増)」、「独立行政法人等(同26.4%増)」は前年同月を上回りました。一方、「沖縄県(同26.3%減)」や「市町村(同2.8%減)」は前年同月を下回りました。

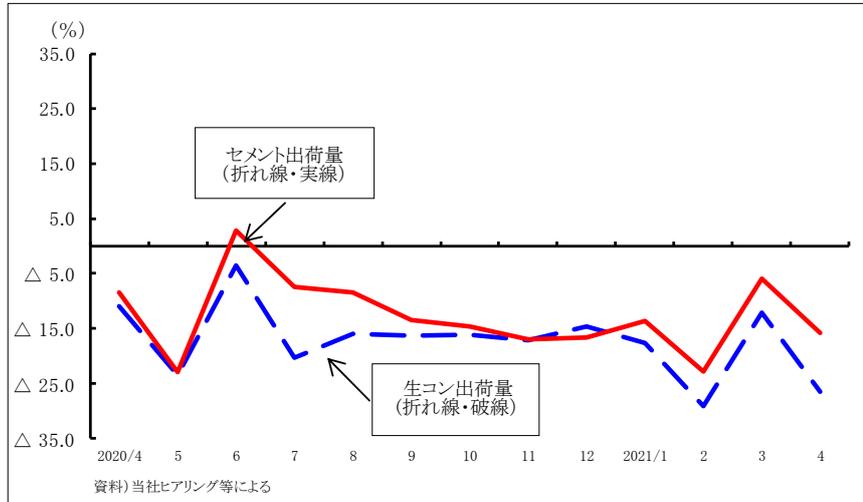
【参考】

2020年度の公共工事請負金額は、前年度比0.1%減の3,085億7,200万円となりました。発注者別でみると、「市町村(同6.4%減)」や「その他の公共的団体(同25.5%減)」、「独立行政法人等(同10.9%減)」は前年度を下回りました。一方、「国(同7.6%増)」や「沖縄県(同9.6%増)」は前年度を上回りました。

②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2020/4	△ 11.0	△ 8.5
5	△ 23.5	△ 22.9
6	△ 3.5	2.9
7	△ 20.3	△ 7.4
8	△ 15.9	△ 8.4
9	△ 16.3	△ 13.4
10	△ 16.1	△ 14.7
11	△ 17.2	△ 16.9
12	△ 14.7	△ 16.6
2021/1	△ 17.7	△ 13.6
2	△ 29.1	△ 22.8
3	△ 12.2	△ 5.9
4	△ 26.5	△ 15.8



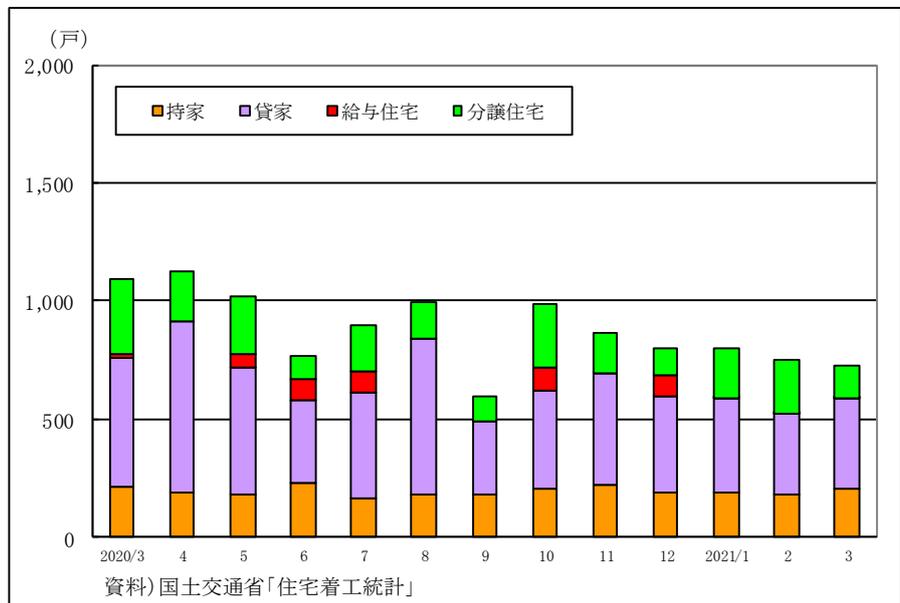
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は 26.5%減と 15 ヶ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より 22.5% 下回り、民間工事向けは、住宅関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より 28.1% 下回りました。セメント出荷量は 15.8%減と 10 ヶ月連続で前年同月を下回りました。

④【参考】住宅投資(3月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。

単位:戸、%

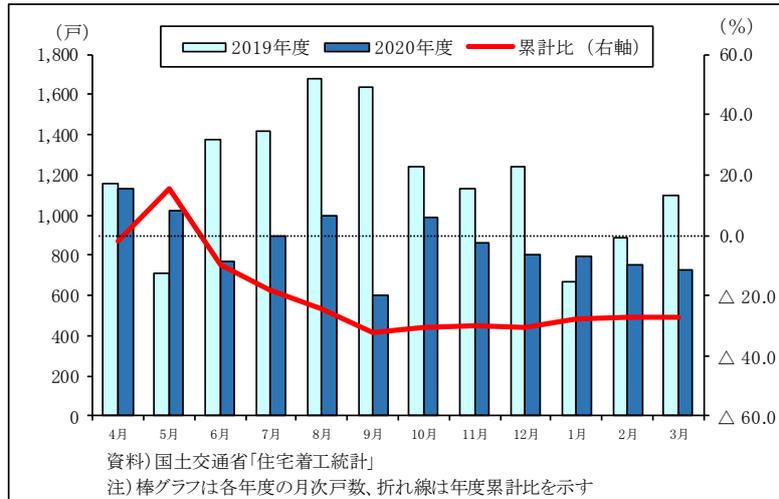
	着工戸数	前年同月比
2020/3	1,094	△18.4
4	1,129	△2.1
5	1,019	44.1
6	767	△44.2
7	896	△36.9
8	993	△41.0
9	600	△63.4
10	985	△20.9
11	862	△23.7
12	804	△35.4
2021/1	798	19.1
2	751	△15.0
3	731	△33.2



3月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 33.2%減の 731 戸となり、2 ヶ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同 30.5%減)」のほか、「分譲住宅(同 55.9%減)」、「給与住宅(同 92.3%減)」、「持家(同 1.9%減)」のすべての項目で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。

	2019年度	2020年度	累計比 (右軸)
			単位:戸、%
4月	1,153	1,129	△2.1
5月	707	1,019	15.5
6月	1,374	767	△9.9
7月	1,419	896	△18.1
8月	1,683	993	△24.2
9月	1,640	600	△32.2
10月	1,245	985	△30.7
11月	1,130	862	△29.9
12月	1,244	804	△30.5
1月	670	798	△27.8
2月	884	751	△27.0
3月	1,094	731	△27.4



今年度累計値では、27.4%減となっています。



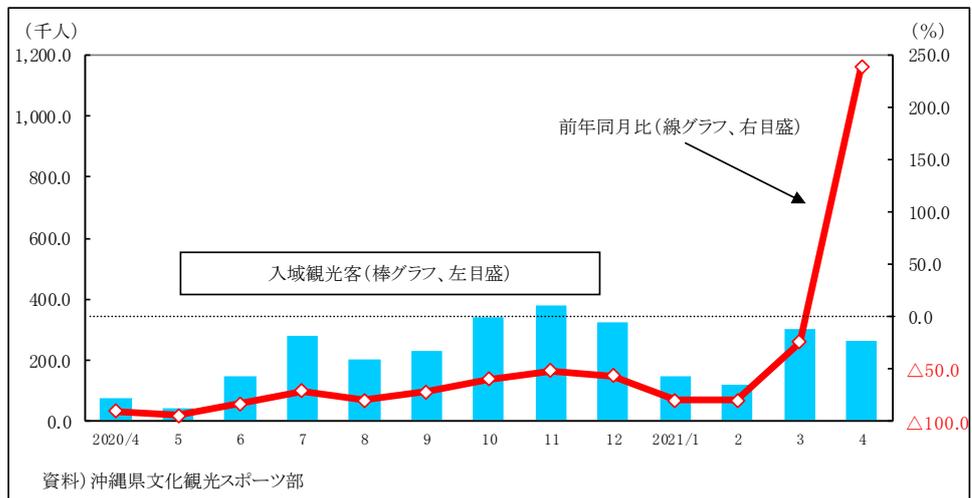
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・16ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/4	77.3	△ 90.9
5	44.0	△ 94.7
6	144.1	△ 83.4
7	277.3	△ 71.2
8	202.8	△ 80.1
9	227.6	△ 71.9
10	341.2	△ 59.9
11	381.1	△ 52.3
12	326.2	△ 56.8
2021/1	144.0	△ 80.2
2	118.8	△ 79.9
3	299.2	△ 24.5
4	262.6	239.7

※外国客は乗務員等を含む

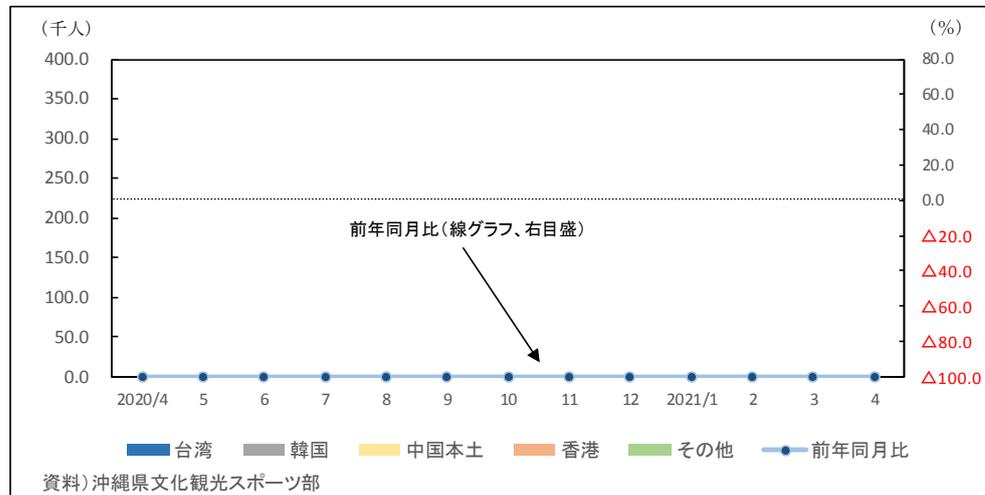


外国客 入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0
7	0.0	△ 100.0
8	0.0	△ 100.0
9	0.0	△ 100.0
10	0.0	△ 100.0
11	0.0	△ 100.0
12	0.0	△ 100.0
2021/1	0.0	△ 100.0
2	0.0	△ 100.0
3	0.0	△ 100.0
4	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



4月の入域観光客数は、185,300人多い262,600人(前年同月比239.7%増)となり、16ヵ月ぶりに前年同月を上回り、増加に転じています。4月は前年同月が全都道府県が緊急事態宣言の対象であったことに対し、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言による移動自粛の要請が一部地域であった影響などから、前年同月を大きく上回りました。しかし、前々年同月と比べると大きく下回っており、依然として厳しい状況となっています。

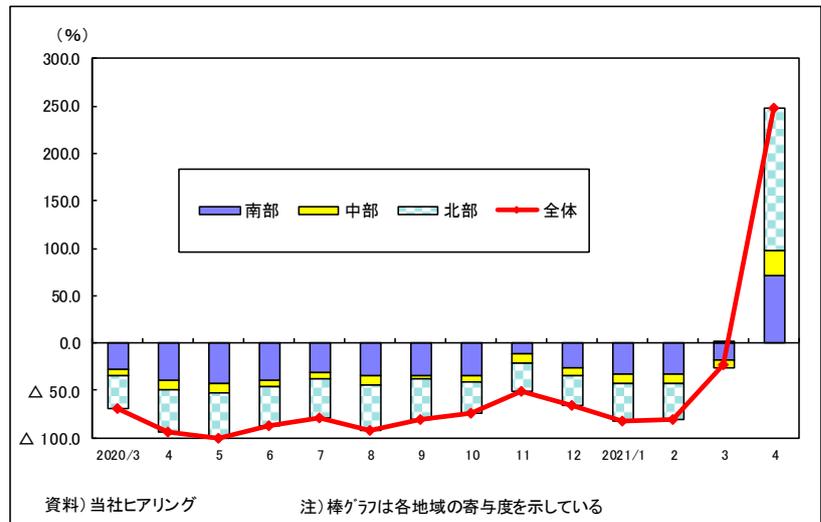
他方、「外国客(同100.0%減)」は、前年同月同様、0人となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、日本への入国制限措置がとられたことなどから、引き続き皆減となりました。

「台湾(同100.0%減)」「韓国(同100.0%減)」「中国本土(同100.0%減)」「香港(同100.0%減)」

②観光施設入場者数・・・21ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2020/4	△ 94.7	△ 95.6	△ 94.7	△ 93.9
5	△ 99.9	△ 100.0	△ 99.6	△ 99.9
6	△ 87.7	△ 92.4	△ 92.8	△ 82.9
7	△ 78.5	△ 83.9	△ 83.4	△ 74.0
8	△ 92.6	△ 92.3	△ 92.6	△ 92.8
9	△ 81.2	△ 86.8	△ 73.5	△ 76.4
10	△ 73.6	△ 81.8	△ 58.9	△ 65.9
11	△ 51.2	△ 38.1	△ 55.1	△ 51.7
12	△ 58.3	△ 70.0	△ 48.4	△ 51.2
2021/1	△ 81.3	△ 87.8	△ 55.0	△ 79.6
2	△ 79.1	△ 90.4	△ 75.9	△ 72.5
3	△ 23.6	△ 46.0	△ 44.3	5.2
4	247.0	208.7	242.5	271.5



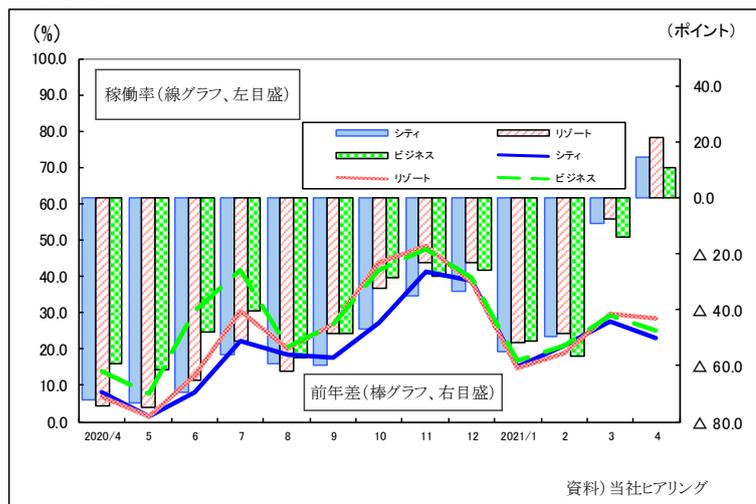
※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設
 ※2019年3月より、北部の対象施設数に変更(5⇒4)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より247.0%増加(21ヵ月ぶり)しました。各地域ともいずれも前年の施設の休業体制等から反動増となりました。地域別にみると、南部にある観光施設は同208.7%増と21ヵ月ぶりに、中部は同242.5%増と16ヵ月ぶりに前年同月を上回り、北部は同271.5%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

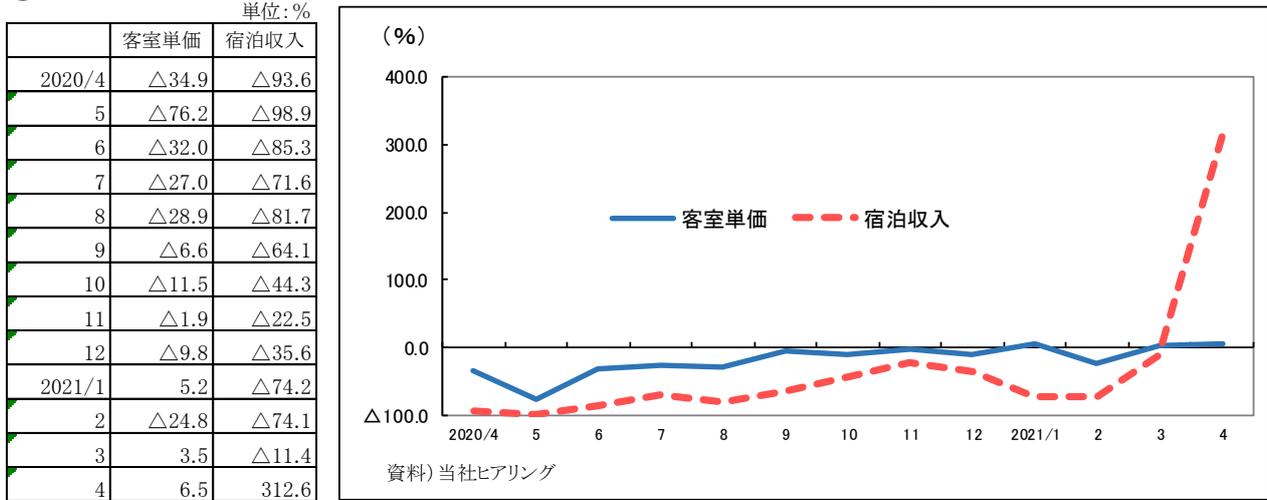
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2020/4	8.0	6.8	13.9	△ 72.2	△ 74.6	△ 59.5
5	1.3	1.4	7.6	△ 73.1	△ 74.8	△ 61.2
6	8.2	12.8	30.4	△ 69.6	△ 64.9	△ 48.1
7	22.4	30.5	41.7	△ 55.8	△ 51.4	△ 40.1
8	18.6	20.1	20.7	△ 59.5	△ 61.8	△ 56.9
9	17.6	26.6	26.7	△ 59.9	△ 48.4	△ 48.6
10	27.0	43.8	41.6	△ 46.6	△ 32.5	△ 28.4
11	41.2	48.4	47.4	△ 35.1	△ 23.0	△ 28.2
12	38.9	38.5	39.5	△ 33.2	△ 23.3	△ 25.9
2021/1	15.1	14.9	16.7	△ 55.1	△ 51.9	△ 51.4
2	21.0	18.8	20.9	△ 49.3	△ 48.3	△ 56.7
3	27.8	29.7	29.4	△ 9.2	△ 7.6	△ 13.8
4	23.0	28.6	25.0	14.7	21.5	11.1



注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
 注)2019年11月より、ビジネスホテル対象施設数に変更(6⇒4)となったことから、2018年11月以降の数値を遡って改定した。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

県内ホテル稼働率は、前年の休業体制からの反動増によりシティホテルが23.0%と14.7ポイント増加(22ヵ月ぶり)、リゾートホテル28.6%と21.5ポイント増加(23ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが25.0%と11.1ポイント増加(21ヵ月ぶり)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価および宿泊収入は前年同月を上回る。



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く
 ※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比6.5%増と前年同月を上回りました。また**宿泊収入**も前年の休業体制からの反動増を受け、同312.6%増と前年同月を上回りました。

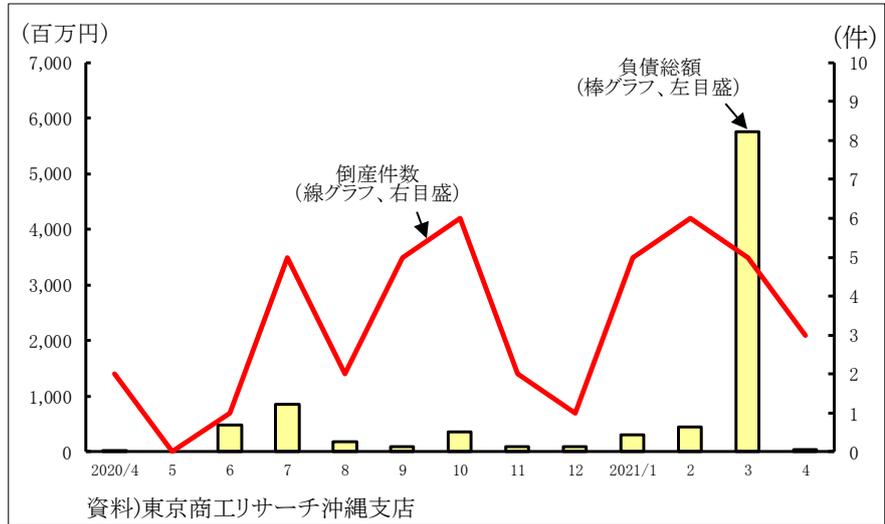


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2020/4	30	2
5	0	0
6	490	1
7	862	5
8	182	2
9	84	5
10	360	6
11	87	2
12	88	1
2021/1	312	5
2	454	6
3	5,753	5
4	37	3



注)負債総額1,000万円以上を集計対象

4月の企業倒産件数は、3件(うち大口倒産はなし)となり、前年同月より50.0%上回りました。

負債総額は3,700万円となり、前年同月より23.3%上回りました。

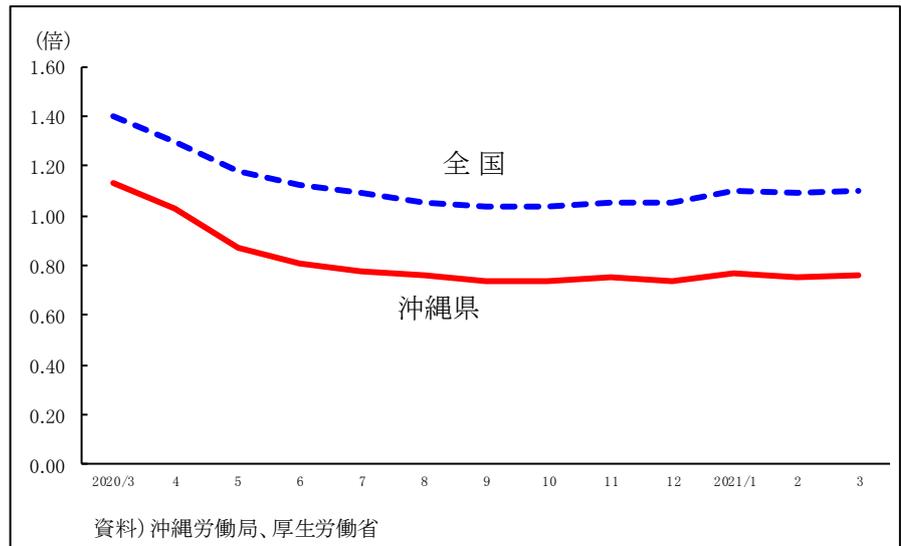


■雇用関連： (やや悪い)

①【参考】有効求人倍率(3月)・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2020/3	1.13	1.40
4	1.03	1.30
5	0.87	1.18
6	0.81	1.12
7	0.78	1.09
8	0.76	1.05
9	0.74	1.04
10	0.74	1.04
11	0.75	1.05
12	0.74	1.05
2021/1	0.77	1.10
2	0.75	1.09
3	0.76	1.10



注)季節調整済

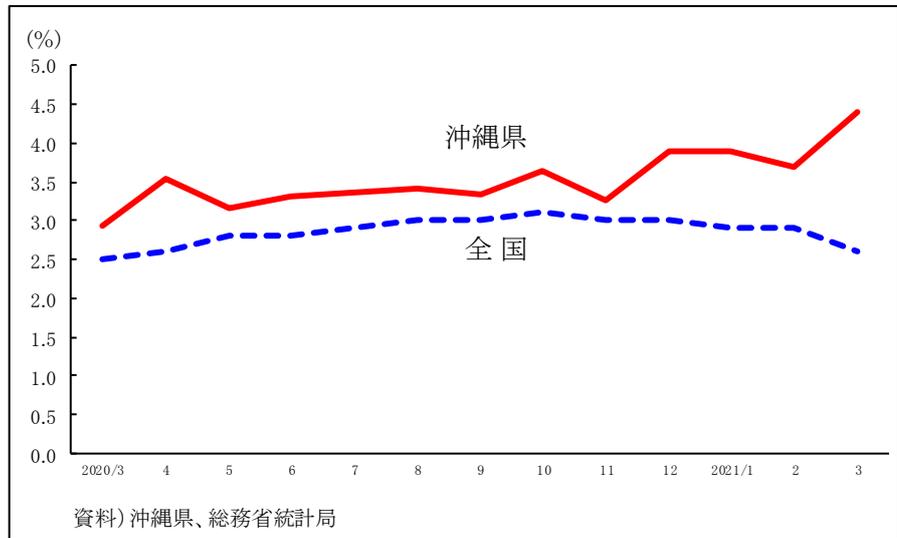
注)沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

3月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比0.2%減の23,027人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.9%減の30,450人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍と、前月より0.01ポイント上昇しました。

②【参考】完全失業率(3月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2020/3	2.9	2.5
4	3.6	2.6
5	3.2	2.8
6	3.3	2.8
7	3.4	2.9
8	3.4	3.0
9	3.3	3.0
10	3.6	3.1
11	3.3	3.0
12	3.9	3.0
2021/1	3.9	2.9
2	3.7	2.9
3	4.4	2.6



注) 季節調整済

3月の完全失業率(季節調整値)は、4.4%となり前月より0.7ポイント上昇しました。